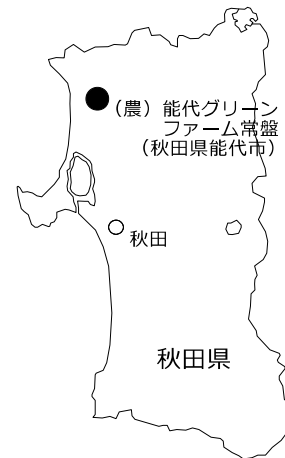


農事組合法人能代グリーンファーム^{ときわ}常盤（秋田県能代市）

～水稻の低コスト技術の導入と高収益作物の本格導入・定着～



I 組織の概要

- 1 名称：農事組合法人能代グリーンファーム常盤
- 2 代表者：幸坂^{こうさか}登^{のぼる}
- 3 設立年：平成19年度
- 4 所在地：秋田県能代市常盤
- 5 集団の形態：農地所有適格法人
- 6 構成農家数：5戸
- 7 経営面積：57.0ha

II 土地改良事業の概要

地区名	事業名	工期	受益面積	主要工事
常盤本郷	経営体育成基盤整備事業	H18～25	99.2ha	区画整理 99.2ha等

III 表彰理由

本法人は事業を契機に設立され、事業地区の農地集積を進め、直播栽培、機械の大型化等により水稻生産の省力化を図り、高収益作物（ねぎ）を本格導入・定着させている。ねぎは大半を加工業務用出荷として総販売額の約5割を占めるまでに拡大させて、複合経営による安定した法人経営が行われている。さらに担い手の育成にも積極的に取り組んでいる。

また、地域の小中学校の除雪作業や管理されていないじゅんさい沼の管理等による地域貢献に努めるとともに、多品目出荷の実現等に向けても取り組んでいる。

IV 活動の概要

1 沿革

事業を契機に担い手不足を解消するため「農事組合法人能代グリーンファーム常盤」を設立した。事業地区の約5割の農地集積を進め、水稻と大豆を組み合わせたブロックローテーションに取り組むとともに、高収益作物（ねぎ）の栽培に本格的に取り組んで複合経営を定着させ、地域の担い手となっている。

2 農地集積・基盤整備による生産性の向上と複合経営

農地集積による経営規模の拡大を図り、大区画ほ場での水稻の直播栽培に積極的に取り組み、省力化・低コスト化を進めている。水稻・大豆の生産性を向上させたことに加えて県単事業による園芸メガ団地が整備されたこともあいまって高収益作物（ねぎ）を本格的に導入して、経営の中心となるまでに拡大させ、加工業務用出荷を積極的に取り入れることで経営の安定化に取り組んでいる。

3 担い手の育成による産地貢献

Uターン者を含む地域の若手を法人の担い手として育成するとともに、Iターン者を研修生として受け入れて自立就農を実現させるなど、ねぎ産地の体制強化に取り組んでいる。

4 地域への貢献

ねぎの収穫や出荷調製作業に雇用労働力を活用することにより女性・高齢者の雇用の場を創出するとともに、地元小中学校の除雪作業や管理できていないじゅんさい沼の管理に取り組むなど、地域貢献に取り組んでいる。

農事組合法人能代グリーンファーム常盤の活動状況



左から幸坂代表理事、渡邊専務理事



ほ場大区画化とともに直播栽培等の取組により水稻生産コスト、労働時間を低減



平成 27 年度より秋田県の重要プロジェクトとして整備された
「能代市轟地区園芸メガ団地」でねぎの生産を開始



加工・業務用ねぎにも取り組むことで生産効率が向上



地域の若手を専従雇用して法人の担い手として育成中